

南部コロキウムの実施と理論研究の土壌作り

橋本幸士

研究部門 理論科学研究拠点

理論科学は、その基礎に数理構造を存し、本来的に理論科学分野全てにおいて共通の礎を共にするものであるが、一方で成果主義の横行により科学社会の細分化が進み、各研究室間ですら新しい科学の芽を育てる意思疎通を損する状況となっている。そこで本拠点では、「南部コロキウム」と題した談話会を定常的に企画し、大阪大学の理論科学や物理学を中心とした研究者や学生が常に交流できる土壌を作っている。また、主宰研究会を分野横断的に開催し、理論科学の観点から自然階層を超えた理論研究の統合と応用の開拓を行い、新しい理論パラダイムを模索する。

2020年度の南部コロキウムの詳細は、下記の通りである。

- * 南部コロキウム：通例理学研究科南部陽一郎ホールにて開催
対象：理論科学研究者、学部生、大学院生、各回計100名程度
2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、オンラインで実施

第27回

開催日：2020年10月8日（木）

講師：本間 希樹 先生

[国立天文台水多 VLBI 観測所所長]

講演：『電波望遠鏡が捉えた巨大ブラックホールの姿』

第28回

開催日：2020年11月5日（木）

講師：木村 真明 先生

[北海道大学大学院 理学研究院 教授]

講演：『原子核のかたち』

研究業績リスト

I 査読論文

該当なし

II 国際会議等における発表

該当なし

III 国内会議等における発表

該当なし

IV 著書

該当なし

V 受賞と知的財産

該当なし

VI その他研究業績、発表文献

該当なし